



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 トーモク
 コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中橋 光男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 山口 禎人
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 03-3213-6811

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	128,303	4.0	3,635	21.4	3,820	13.9	2,379	19.4
2019年3月期第3四半期	123,374	6.5	2,994	△23.0	3,353	△19.4	1,991	△21.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,246百万円 (25.2%) 2019年3月期第3四半期 1,795百万円 (△46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	145.56	132.92
2019年3月期第3四半期	121.85	111.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	152,117	63,644	41.6
2019年3月期	142,517	62,184	43.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 63,279百万円 2019年3月期 61,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 創立70周年記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	178,000	3.7	6,700	28.7	7,000	24.9	4,500	0.8
								275.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	19,341,568 株	2019年3月期	19,341,568 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,996,385 株	2019年3月期	2,995,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,345,647 株	2019年3月期3Q	16,346,664 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかに増加しています。米中貿易摩擦の長期化や中国を中心とした海外経済の減速の動きなどにより製造業を中心に輸出や生産に弱さがみられますが、公共投資等の各種政策は着実に推進されており、景気は緩やかに拡大しています。一方、消費税増税や自然災害などの影響、通商問題を巡る動向や中国経済の先行き、中東情勢を巡る地政学的リスク等を含め下振れリスクが少なくない状況です。

その中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は128,303百万円（前年同期比4.0%増）、経常利益は3,820百万円（同13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,379百万円（同19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、着実な改善傾向にある国内経済のもと食品向けや通販・宅配向け等の需要増はありましたが、消費税増税や長梅雨・台風の影響により盛り上がりには欠け、生産量は前年同期を若干下回る見通しであります。

当社グループの段ボール生産量は、全国の伸びを上回り、また前年同期比増加しました。

主原料である段ボール原紙は2017年8月と2018年11月に値上げがあり、当社は段ボール製品の再生産可能な適正価格への転嫁に向け、取組んでおります。

段ボールの売上高は一昨年秋から取組んでいる製品価格の改定もあり76,560百万円（前年同期比8.8%増）となり、営業利益も4,427百万円（同26.1%増）となりました。

〔住宅〕

住宅市場においては、雇用・所得環境の改善が継続していることや優遇税制等政府による住宅取得促進支援策等、住宅取得への関心は底堅く推移しておりますが、住宅展示場来場者数は前年比減少傾向が続く中、受注状況は戸建住宅・賃貸住宅・分譲住宅等、ほぼ全ての分野で前年同期比減少となる弱い動きが続いております。

スウェーデンハウス(株)は、快適性能No.1のアピールと価値の持続する家作りを基本に、お客様への安心感と高級ブランドイメージの浸透に取り組んでまいりましたが、戸建住宅市場の厳しさに加え、買い急がず、様子見のお客様が目立つという住宅取得に対する慎重さが一層顕著となる中で受注棟数は前年同期を下回りました。一方でリフォーム部門では消費税増税前の需要もあり、増収・増益となりました。

住宅の売上高は売上棟数が前年同期を下回ったため22,667百万円（前年同期比3.0%減）となり、また売上が第4四半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあり、営業損失は1,557百万円（前年同期は営業損失1,508百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、新規取引先による取扱量の増加がありましたが、主力の清涼飲料関係の貨物が上半期の長梅雨・低温の影響を大きく受け、貨物全体としての取扱量は減少しました。また、車両不足によるコスト増、天候不順による在庫量の増加で外部倉庫賃借料等のコストが増加しました。

運輸倉庫の売上高は、取扱数量の減少等により29,075百万円（前年同期比1.8%減）となり、営業利益は車両不足や在庫数量増による費用増加もあり、営業利益は1,318百万円（同13.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末比9,599百万円増加し152,117百万円となりました。負債は長期借入金やその他流動負債の増加等により前連結会計年度末比8,138百万円増加の88,472百万円となり、純資産の部は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比1,460百万円増加の63,644百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2019年5月8日に発表いたしました業績予想を次の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	185,000	7,600	8,000	5,000	305.89
今回修正予想 (B)	178,000	6,700	7,000	4,500	275.30
増減額 (B - A)	△7,000	△900	△1,000	△500	-
増減率	△3.8%	△11.8%	△12.5%	△10.0%	-
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	171,580	5,204	5,604	4,464	273.14

(修正の理由)

2020年3月期の通期業績予想につきましては、住宅事業において売上棟数が計画を下回る見込みであり、運輸倉庫事業において暖冬や伝染病流行等により想定を超える売上の減少等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想額を下回る見込みであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,279	7,765
受取手形及び売掛金	28,830	32,115
電子記録債権	2,775	3,394
たな卸資産	10,089	13,386
その他	4,448	5,690
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	56,363	62,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,725	24,100
機械装置及び運搬具（純額）	14,893	14,399
土地	28,291	33,053
その他（純額）	2,343	2,435
有形固定資産合計	70,254	73,989
無形固定資産	249	215
投資その他の資産		
投資有価証券	9,602	9,157
その他	6,309	6,716
貸倒引当金	△261	△256
投資その他の資産合計	15,650	15,617
固定資産合計	86,154	89,822
資産合計	142,517	152,117

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,594	19,261
短期借入金	3,262	3,951
1年内返済予定の長期借入金	9,358	10,607
未払法人税等	718	850
賞与引当金	1,767	819
その他の引当金	255	157
その他	8,396	12,679
流動負債合計	43,352	48,327
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,999	2,999
長期借入金	24,837	27,788
退職給付に係る負債	3,714	3,717
その他の引当金	633	630
その他	4,796	5,009
固定負債合計	36,981	40,144
負債合計	80,333	88,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,235	11,257
利益剰余金	37,285	39,085
自己株式	△4,318	△4,320
株主資本合計	57,871	59,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,398	3,315
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	△26	△78
退職給付に係る調整累計額	419	350
その他の包括利益累計額合計	3,791	3,587
非支配株主持分	520	364
純資産合計	62,184	63,644
負債純資産合計	142,517	152,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	123,374	128,303
売上原価	103,413	107,375
売上総利益	19,960	20,928
販売費及び一般管理費	16,966	17,293
営業利益	2,994	3,635
営業外収益		
受取利息及び配当金	158	195
仕入割引	122	136
雑収入	350	233
営業外収益合計	631	565
営業外費用		
支払利息	109	134
雑損失	162	246
営業外費用合計	271	380
経常利益	3,353	3,820
特別損失		
固定資産処分損	54	100
減損損失	7	1
災害による損失	33	-
子会社株式評価損	26	-
特別損失合計	121	102
税金等調整前四半期純利益	3,232	3,718
法人税、住民税及び事業税	1,431	1,654
法人税等調整額	△274	△387
法人税等合計	1,156	1,267
四半期純利益	2,075	2,451
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,991	2,379

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,075	2,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	△82
繰延ヘッジ損益	△25	△0
為替換算調整勘定	111	△52
退職給付に係る調整額	△41	△69
その他の包括利益合計	△280	△204
四半期包括利益	1,795	2,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,711	2,174
非支配株主に係る四半期包括利益	83	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,382	23,368	29,623	123,374	—	123,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	390	2	3,346	3,740	△3,740	—
計	70,772	23,371	32,970	127,114	△3,740	123,374
セグメント利益又は損失(△)	3,511	△1,508	1,514	3,517	△523	2,994

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△523百万円には、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△582百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,560	22,667	29,075	128,303	—	128,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	314	2	3,404	3,720	△3,720	—
計	76,875	22,669	32,479	132,024	△3,720	128,303
セグメント利益又は損失(△)	4,427	△1,557	1,318	4,187	△552	3,635

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△552百万円には、セグメント間取引消去47百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△599百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。